★スーパーバイザー資料★

ある日のこと、主任相談支援専門員の私に部下（広瀬さん）から相談があった。「担当ケースのことで悩んでいます」「相談に乗ってください」「スーパーバイズして欲しい」とのことであった。

数日後、ゆっくりと時間をとって、広瀬さんと１対１で話を聞いた。広瀬くんは経験年数がまだ2年ほどの職員ではあったが、勉強熱心で非常に明るく、毎日快活に仕事をしている印象であったが、担当ケースのことで困っていて退職も考えているようであった。

●あなたは、広瀬さんの話を聞いてスーパービジョンをしようと考えています。

担当ケース氏名　鈴木幸子さん　女性　年齢２４歳　軽度知的の疑い（手帳なし）

初回面談　母と共に来所（1年前）

主訴　（母）娘が風俗で働いている。辞めさせたいが言うことを聞かない。どうしたらよいか？相談員からも言ってほしい。

（娘）一人暮らしがしたい。彼氏が欲しい。お金が欲しい（小遣いが足らない）

※１　相談に対して、スーパービジョンが行われることは了承済み

※２　「担当を変更するよ」は禁句。

●事前準備ワーク

①あなたが感じた本人（鈴木幸子さん）のよい点や強みと問題はなにか

②あなたが感じたバイジー（広瀬さん）のよい点や強みと問題はなにか

③鈴木幸子さんと広瀬さんの関係性をどのように感じたか

④あなたが感じた組織内（職場）のよい点や強みと問題はなにか

⑤あなたが感じた地域のよい点や強みと問題はなにか

⑥あなたはコンサルテーション（事例へのアドバイス）を行なうのか、スーパービジョンを行なうのか

＜参考　スーパービジョンの三つの機能＞

「管理機能」

職場における相談支援のミッションを理解し、相談支援の価値観や実践の目的について理解を深める。

「教育機能」

利用者のエンパワメントに関して理解を深める。利用者のリカバリー（新しい生き方の再発見）に関しても共感性を養う。

「支持機能」

さまざまなケースを担当している相談支援専門員への励まし、共感的理解。これによってバーンアウト、業務意欲の喪失、マンネリ化を防ぐ。